



市議会 だより

city
assembly
report

Vol. 17

おもな内容

- 4会派代表による新春座談会 2~5
- 議案審議 6
- 常任委員会報告 7~10
- 代表質問目次 11
- 各会派による代表質問 12~13
- 一般質問目次 14
- 一般質問(14名が問う) 15~19
- 特別委員会等の動き 20~21
- 新名神甲南インター開通 21
- くつろぎこうか [シリーズVol.13] 22
甲賀の味シリーズ⑥



信楽の「スマイルキッズ」かるたあそび



甲賀市議会 4 会派の代表が語る

新春座談会

参
加
者

日本共産党／安井直明議員 正政会／石川善太郎議員 公明党／加藤和孝議員 清風クラブ／岩田孝之議員
(写真左から)

司会 … 服部治男議長

「甲賀市のいま・未来」

甲賀市が誕生して5年目。今秋には市議選も行われます。そこで、市議会の4会派の代表に「甲賀市のいま・未来」をテーマに、新春座談会を企画しました。司会は、服部治男議長（編集は、議会広報特別委員会）

甲賀市の現状どう見る

議長 あけましておめでとうございます。

全員 おめでとうございます。

議長 甲賀市も合併して5年目を迎えました。

本日は、「甲賀市のいま・未来」をテーマに、市議会の4会派の代表にお集まりいただきました。大いに議論していただきたいと思っております。それでは最初に清風クラブ代表の岩田孝之議員からどうぞ。

岩田 市民のみなさん、あけましておめでとうございます。清風クラブは、中嶋市政を支える最大会派として、市民のための市政実現に努めてきました。中嶋市政第1期においては理想的なスタートを切られたのではないのでしょうか。新名神の開通に伴い市内工業団地はほぼ満杯。出荷額では19年度7600億円、県内一位です。しかし、増大する福祉や医療、耐震で待ったなしの教育施設整備、下水道整備など課題は山積で、厳しい財政運営を強いられていると考えて

います。特に経常収支比率が97%で、新規事業がほとんど見込めない。財政調整基金も新年度で底をつく状況にあり、これまで以上に厳しい予算編成が見込まれる。だから、市民のみなさんにも充分理解していただき、財政健全化にむけて思い切った対策が必要だと思っています。

議長 次に公明党の加藤和孝議員どうぞ。

加藤 いま清風クラブの代表がいわれたように、甲賀市に限らずですが、非常に厳しい財政状況にある。合併して5年になりますが、合併してよかつたのか、というよかつた、という声はあまり聞かない。合併して悪くなったの違うかという声は聞くんですが…。検証は当然しなければならぬが、やはり10年くらい、少なくともそういう経過で見ていかななくてはいかんと思えます。ただ短期的なことでは、例えば特別職は5町の15人が2人に。議員も当初は82人、それがいまは30人。職員さんも当然合併によって削減も可能ですし、専門化をはかつていくこともできる。そういうメリットはある。地方交付税も合併して10年間は、旧町の合計額が保障される。ところが合併していなかったらどうなるのか、5町で毎年20億円以上は減っているのではないか。つまり、財政面からみても、合併のメリットはある。今後の課題は、財政面

も当然あるわけですが、公共施設の再編。公共団体の統合。中心部だけが発展して周辺部が取り残されていくことのないような対策も必要です。これからも中嶋市政を支える立場で頑張っていきます。

議長 続きまして、正政会の石川善太郎議員どうぞ。

石川 私たちの会派は、三人という少数ですが、地方議会の二元代表制の精神に則り、「是は是非は非」ということで、理事者と緊張感のある議会活動なり、議員活動に携わってきました。

さて、中嶋市政2期目に入り、甲賀市は大変な状況にある。特に財政面では想像を絶する危機的な状況。そこへ世界的な経済不況。財政再建団体への道を歩むことになる可能性は極めて大きいのでは、とそんな気がします。いままさに、思いきった行政改革を断行しなければならぬ。そんな思いです。

議長 それでは最後に、日本共産党の安井直明議員どうぞ。

安井 世界的な金融不安のうえに、増税や社会保障の削減、不安定な雇用状況が、国民生活に大きな不安を与えています。甲賀市も合併して5年。この間、国の三位一体改革で地方財政は大変。市の財政でいいますと、当初予算で17年度414億円、18年度は358億円、19年度は327億円、20年度は320億円。年々予算が減っています。こうしたなかでも、市民の願いである健康と福祉をどう守っていくのか、が問われています。中嶋市政2期目にあたって、甲賀市の発展のためならば、例えば国・県に対して

も意見をいう、と。自治体の長として、いまこのことが求められています。日本共産党は、地方自治体は国の悪政から市民を守る防波堤の役割を担うことが大事だといっています。市長は2期目にあたり、「稼ぐ、削る、守る」のキーワードと7つの約束をされましたが、特に、福祉や教育は守り伸ばすことが大切です。

厳しい財政と市民との協働



服部治男議長

議長 ありがとうございます。4会派の代表からそれぞれ甲賀市の現状認識と会派の立場をお聞きました。共通して出されたのが財政問題。市民のみならずさまざまな要望が出る。どれも切実な要望であろうと私は理解した上ですけれど、市も財政的に厳しい状況なんだとお話すると、「市はそんなに金がないのか」という声が返ってくるわけです。そこで財政問題に絞ってもう少し議論を。

岩田 当初私は、起債の償還について、21年度がピークで、その後は減っていく、と思っていました。ところが世界同時不況の影響。これは深刻です。さきほど安井議員が、市民に対して負担増は求めない、とおっしゃったけれども、

削るという点では、行革という名のもとに福祉を削るのではなく、同和や人権の予算にメスを入れる、削ることが必要です。日本共産党は、中嶋市政に対して、いいことは大いに賛成もし、市民負担増になることには反対の立場を貫いてきました。

必要な部分については、ご辛抱も、負担増もある程度必要で、きれいな話をしていたら前へ行かへんのではと思っています。

安井 財政危機の原因はどこにあるのか、根本原因である国の制度改革。地方交付税が年々減らされてきている中で、国や県に対して大いに物を言っていく。こういう姿勢が大事です。そのうえで何が無駄なのか、ということも同時に見ていかなくてはならない。先ほども指摘しましたが、同和・人権の予算。当初は7億3000万円ほどあったわけです。私どもも指摘し、いま4億円に。

加藤 市の財政状況について、議員はいろんな情報が入ってくるわけですから理解できるわけですが、市民のみなさんは、日常的には市の財政状況についてあまり詳しくはご承知いただいていない。このため、企業会計方式を導入し、例えば市民一人あたりの借金これだけありますよ、とわかりやすく知らせる必要がある。いろんな情報をお知らせするなかで、現状を打開していくためには、市民と議会と行政が一体と

4 会派代表が語る「甲賀市のいま・未来」

なつて積極的に取り組んでいかななくてはならない。市民との協働が大事ですね。



公明党 加藤和孝議員

議長 財政が困窮しているなかで、いま加藤議員がいわれたように市民との協働ということが絶えずテーマになります。しかし、市民のみなさんが本当に力をあわせて市と協働せなアカンのかと思つていただいているかどうかです。それは市がやつて当たり前、と多くはそういう感覚でおられるのではないかと、思うんです…。

石川 市民との協働の話ですが、市民が望んでおられるのは、安全・安心で健康な暮らしがずっと未来永劫続いたらええなあと。そういうことだと思ひます。これまで市が行つてきたが、財政が行き詰つてきたから、一緒にやらないかん。一緒にやるといふことは、一緒に汗をかいて、一緒に行動して、一緒に意識も共有する。そのためには現状をもつと市民に知らせる。こういうことをしないと難しいと思ひます。

加藤 阪神淡路大震災以降ですよ。ボランティア精神というのが凄く芽生えて。自分らでできることはやつていこう、そういう思いを持つておられるわけですよ。それで協働もなりたつわけですよ。

石川 ボランティア精神だけではないと思ひま

す。協働という意味。それは行政がしなければならぬことは行政がする。市民がしなければならぬこと。それは分担というか、きちんとわけたなかで、一緒に共有していく。そこでは情報が必要やと。

安井 さきほどの財政危機の原因も含めて、その打開のためには情報公開が大事です。

岩田 この数年間、全国的にも、NPO法人もすごい数で広がつていふ。市民との協働という考え方は広がつていふ。ただ今は、行政側からの呼びかけで、行政の都合で、協働の話が出ていふむきもある。真に協働という、市民も行政も、双方の意識が変わらなないと。単に財政危機だから協働というのではだめで、もつと議論をしていく必要がありますよ。

切実な市民の願ひに…

議長 さきほどの財政問題と切り離せないわけですが、市民のみなさんからの切実な願ひ、要望にどう応えていくのか、どんな要望が出されていふのか、その辺の話。

安井 市のアンケートでもだされていふのは福祉や教育の充実。予算編成にあつて、日本



日本共産党 安井直明議員

共産党として282項目の要望を市長に出しました。「稼ぐ、削る、守る」のキーワードのなかでも、守ることを一番大事にしていかななくてはならないと思ひます。

岩田 私は信楽出身ですが、特に信楽焼の状況を見てみると企業倒産もあり、危機的な状況にある。農業も、資材高騰と価格低迷のなかで大変。福祉の問題でいふば、甲賀市は滋賀県の中でも引つ張つてきた部分がある。それは非常に大事ですし、私も支援してきたわけですが、いまこの段階では、凍結してもらつても考えないと。財政が好転するまで辛抱するものは辛抱する。こういうスタンスをもつていただかないと。

石川 それはもつともな話ですな。議員は、予算案をチェックするだけではないに、議員が市民からの要望を予算にどう反映させるのか、辛抱してもらわなアカンところは辛抱してもらつて。予算編成の段階からこういう議論ができる。予算特別委員会にせなアカンと思つていふます。

今年市議選の年

議長 ところで、今年市議選の任期満了。秋には市議選があるわけ、残されたこの10か月、議員として、議会として、何をなすべきか。将来の甲賀市のための、明るい夢のもてる話も聞かせていただければ…と思ひますが。

安井 いまの現状認識は、会派の違いを超えて一致していふと思ひます。若者に夢がない。農業が大変。派遣の人が解雇されて大変。こう

新春座談会



清風クラブ 岩田孝之議員

した現状は一緒。会派の立場は違いますが、これまでの市政のチェック役というだけではなしに、市民の切実な願いを市政に届けるために、議案提案権を使って、条例を制定する。まさに車の両輪としての行政と一体となって、市民の暮らしを守るために、もうひとつ高い議員活動をどうしていくのか、が問われています。

岩田 財政破綻の夕張で問題になったのは、議会は何をしていたのか、と。それは従来の執行部提案に賛成するだけの議会ではあかん。正しくチェックをして、判断するという役割の重要性が増している。安井議員がいわれたように、条例提案とか政策立案とか、これからの議員に求められると思うわけです。いま議会改革特別委員会のなかで、開かれた議会ということ、議論していますし、そのなかで定数問題も議論になっています。単に数を減らしたらいいという議論でなしに、権限移譲で地方自治体の役割が増している。議員の役割も非常に高まっている。そういう本質的な議論をしていくなかで最終的な判断をしていかなくてはと思います。

議員の資質を高めなければ…

加藤 二元代表制。つまり首長と議会は対等だと。しかしこれまでの経緯から見ると、議会はどこちらかという従の部分の流れできたと、今まで一般的に言われているわけです。やはり、議員一人ひとりの資質を高めていくことが最大のテーマであり、お互いに切磋琢磨するなかで、議員としての努力をしていくことが求められているのではないかと思います。



正政会 石川善太郎議員

石川 先ほど岩田議員のなかにありましたが、

議員定数問題。もちろん議会改革特別委員会のなかで充分議論していくわけですが、定数と議員報酬。これはセットであり、定数については、削減の方向ですすめたいと思っています。

安井 正政会の方から議員定数を削減せよということですが、難題といえますか、財政上も厳しい時、また滋賀県で2番目に広い面積がある甲賀市で、やはり、市民の声をどれだけ通していくかという点でいえば、現在の30人は、決して多い数ではない。

岩田 定数削減の問題でいうと、清風クラブも21人いますので、賛否、非常に幅広い意見があ

ります。ただ削減ありきではなく、議員として何をなすべきか、果たすべき役割をきちんとふまえたうえで、最終判断をしたいと思っています。

加藤 公明党の立場ということではなく、一般論でいいますと、時代の流れは定数削減です。財政が厳しい中でそういう話が出てくるわけです。今後、議会改革特別委員会のなかで、議論していくわけですが、先ほどもありましたように、削減ありきではなく議員の資質を高め、かつ開かれた議会にしていくという立場で、最終的な判断が必要です。

安井 先ほど強調しましたが、意見書も全会派で一致できるものはあげていく。いま、甲賀市議会は前進していると思うんですよ。

加藤 議会の役割という点では、議会基本条例もつくり、また議員としての政治倫理条例もつくり、議会の立場を明確にしていく。こういうことが非常に大事になっていると思います。

岩田 甲賀市議会は、インターネット中継とかを含めて、非常に積極的に議会改革に取り組んでいる。全国に誇れる議会だと思えますよ。インターネット中継は全国から視察研修にたくさん来られる。

議長 ありがとうございます。大変貴重なご意見が出された意義ある新春座談会であったと思います。議員一人ひとりが資質を高めるための努力と同時に、絶えず会派としても、勉強して、甲賀市の発展のために、市民の暮らしを守るために、お互いに力を尽くしていきたいと思っています。ごくろうさまでした。

議会で審議したもの

人事・条例・予算・意見書・請願 ほか

人事・条例・予算など33議案を審議

12月議会は、12月2日から22日まで開催され、人事・新規条例・条例改正・補正予算など33議案と2つの請願と5つの意見書が提案されました。それぞれの審議結果は、次の通りです。

人事

- ◆甲賀市教育委員の任命につき同意を求める
・國松嘉伸(甲南町葛木)
●現職
- ・藤田照治(信楽町上朝宮) ●現職
(以上2件については、全員賛成にて同意)

- ◆副市長の選任につき同意を求める
・安田全男(甲賀町拝坂)
(全員賛成にて同意)

新規条例

- ◆希望ヶ丘地域上下水道施設整備基金条例(調停で合意した解決金の

使途を明確にするための基金)

- ◆排水処理施設条例(調停の合意にもとつき希望ヶ丘地域排水処理施設の管理等を行う)
(全員賛成にて可決)

条例の一部改正

- ◆特別会計条例(浄化槽管理事業特別会計を設置)
(全員賛成にて可決)

- ◆甲賀市税条例(固定資産税の前納報奨金の交付率見直し)
反対討論●安井直明
賛成討論●福西義幸

11月17日に臨時議会ひらく

11月17日、臨時市議会が開かれました。甲賀市選挙管理委員会については、望月義久、吉田徳一、大原直美、奥村美津代の各氏が、また同補充員には、西村善男、竹村久一、下川昂、酒井義仁の各氏が、全会一致で選出されました。

また、公立甲賀病院組合議会議員の補欠選挙では白坂萬里子議員が、滋賀県後期高齢者医療広域連合議会議員には中嶋武嗣市長が、それぞれ選ばれました。

(賛成多数にて可決)

- ◆土地開発基金条例(現預金の額を2億円とし、土地の簿価額を加算した額を16億円以内とする)
(賛成多数にて可決)

- ◆廃棄物の処理及び清掃に関する条例(廃プラ処理を市内全域で実施するに伴い指定袋の手数料を新たに設定)
- ◆駐車場条例(八光駐車場および貴生川駅前駐車場場の廃止)

- ◆国民健康保険税条例(出産育児一時金に3万円加算するもの)
- ◆下水道条例
- ◆公共下水道使用料条例

- ◆農業集落排水処理施設条例
(以上、7件については、全員賛成にて可決)

特別会計予算

- ◆平成20年度甲賀市浄化槽管理事業特別会計予算
(全員賛成にて可決)

補正予算

- ◆一般会計補正予算(第3号)
- ◆国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- ◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ◆介護保険特別会計補正予算(第2号)
- ◆公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- ◆野洲川基幹水利施設管理事業特別会計補正予算

算(第2号)

- ◆国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)

- ◆水道事業会計補正予算(第2号)
(以上、9件については、全員賛成にて可決)

市道路線の認定・廃止

- ◆水口町宇田地先宇田・灰原線他2線の廃止
- ◆甲賀町神保地先向ノ平沢ノ谷線他9線の認定
(以上、2件については、全員賛成にて可決)

請願

- ◆教育予算の拡充を求める請願書
(賛成少数にて不採択)
- ◆「汚染米」の食用への転用事件の全容解明と徹底回収、外米(ミニマムアクセス米)の輸入中止を求める請願書
(一部採択)

意見書

- ◆消費税の増税を行わないことと、当面食料品の非課税を求める意見書(提案●安井直明)
- ◆反対討論●村山庄衛
賛成討論●山岡光広
(賛成少数にて否決)
- ◆労働者派遣制度に関する意見書(提案●小松正人)
- ◆反対討論●土山定信
賛成討論●安井直明
(賛成少数にて否決)
- ◆介護療養病床廃止・医療療養病床削減の中止を求める意見書(提案●山岡光広)
(賛成多数にて可決)
- ◆大戸川ダム建設に関する意見書(提案●中西弥兵衛)
- ◆反対討論●安井直明
賛成討論●藤井克宏
(賛成多数にて可決)
- ◆「汚染米」の食用への転用事件の全容解明と徹底回収を求める意見書(提案●河合定郎)
(賛成多数にて可決)

委員会報告

総務常任委員会

市行政推進の中核を担っている委員会です



家屋耐震構造の展示（静岡県地震防災センター）



展示パネル（静岡県地震防災センター）



滞納対策について説明をうける委員会（富士宮市）

「防災」と「滞納債権」対策

先進地調査

当委員会では、11月19日と20日に、かねてからの懸案事項であった2課題について、先進地への視察研修を行いました。

防災対策（静岡県地震防災センター）

- ①地震発生時のメカニズム
- ②被害想定
- ③対策事業の概要と効果
- ④監視体制
- ⑤地震情報発表時の対応
- ⑥効果的な災害対策への取り組み

付し、防災センターの小澤所長より詳細なる説明を受けるとともに、委員からも活発な質問が出され、有事の時に自らの身を守ることの難しさを認識させられました。

- ①住宅の耐震診断受診率
- ②耐震化率、および耐震化率を高める策
- ③学校施設等の耐震化率
- ④緊急地震速報の効果的

滞納債権対策（静岡県富士宮市）

厳しい財政状況のなかで、住民税や水道料金などの未収債権の徴収率の

- ①債権回収対策室設置による回収実績
- ②多重債務者への対応と過払金などによる市税等回収実績
- ③悪質滞納者に対する法

な利用と市民への災害情報の伝達手段
④交通機関が寸断された場合の滞留者対策
⑤災害発生時における企業との応援協定
⑥企業の事業継続管理
この研修を通して、自助（自らの力で自らを守る）、共助（地域の力で地域を守る）、公助（行政の力で住民の生命財産を守る）の役割を再認識すると共に、市民と行政との協働力である「地域防災力」を高める必要性を再確認しました。

滞納対策について説明をうける委員会（富士宮市）

滞納対策について説明をうける委員会（富士宮市）

民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です



審議する民生常任委員会

民生常任委員会は12月17日、3年目の見直し時期となる介護保険事業と障害者自立支援法にもとづく「障がい福祉計画」、水口医療センターの整備計画、環境基本計画、信楽訪問看護ステーションの今後について、執行部より説明を受け、所管事務調査を行いました。介護保険事業では、第4期（平成21年度から23年度まで）計画策定にあ

障がい福祉計画 介護保険事業計画

見直し時期

たつて、高齢化率が現行の20.4%が年々高くなり、平成26年には23.4%

に達すると予測。要支援・要介護認定者数も現行約2900人が約3500

人に。これらに対応するための介護サービス施設と体制の充実が求められる

ています。

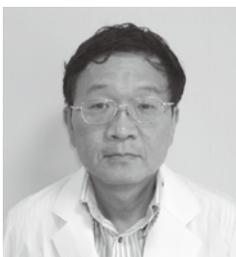
また障害者基本法にもとづく「障がい者計画」と障害者自立支援法にもとづく「障がい福祉計画」

も見直し時期にあり、甲賀市ではこれらを一体化

させ「障がい者のための安心・交流・生きがいプラン」を策定中です。2月13日までパブリックコメントを行っています。詳細は、甲賀市のホームページを参照。

水口医療センター 整備計画案 医療併設型老人保健施設 建設へ

| | マスタープラン調査結果 (自治体病院共済会) 抜粋編 | 甲賀市の計画案 |
|------------------|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 病院か診療所か | 【診療所】 将来的に在宅療養支援診療所を目指す。 | 【診療所】 将来において医師の確保が可能となれば、入院患者の受療動向等を見極め、老人保健施設の一部を病院または一般病床を有する有床診療所として転換検討を行なう。 |
| 老人保健施設を整備(併設)するか | 《施設の種類の》-医療機関併設型小規模老人保健施設(29床) | 医療機関併設型小規模老人保健施設(29床)とするが、運営状況や施設需要の動向を見て、延50床程度の施設規模拡大を検討する。 |
| 自治体病院として担う機能は | ①外来機能の必要性は低い ②在宅医療の支援体制(訪問看護・訪問リハと連携した在宅医療サービスの提供) ③甲賀病院のサテライト機能 | 開業医と競合を避けた専門性の高い診療機能を有する診療科が必要である。予防接種・健康診断等保健・介護・福祉機能を有する中核的施設として在宅医療サービスの提供など公的機関としての役割を担う。 |
| 整備場所は | ①現施設の隣接駐車場及び本館跡地 ②貴生川駅前開発の進捗によっては、共同施設への参画を考える。 | 現施設の隣接駐車場及び本館跡地が適当である。 なお、貴生川駅前再開発の進捗によっては、共同施設への参画を考える。 |
| 運営方法は | ①甲賀病院との組織統合 ②指定管理者制度の導入 | 【直営】 甲賀病院との組織統合は、十分な協議と調整が必要であり、現段階においては難しい。介護施策の重要性から市が運営し、将来的には民間委託の検討も行なっていく。 |



常勤内科医師増員

医師不足が原因で昨年4月から19床の診療所となった「水口医療センター」の今後のあり方について、提出された「水口市民病院マスタープラン報告書」をもとに、甲賀市としての基本方針が提示され、当委員会としても慎重に議論をすすめています。

上記の表は、マスタープランと市の計画案の骨子をまとめたものです。骨子がまとめたものですが、耐震の問題から現施設は建て替えをしなければならず、また現在の介護療養病床が平成23年度末には、廃止・転換をしなければならぬこと、さらに医師不足が根本的に解消されないなど課題が山積しています。

副院長 田中成一医師

水口医療センターに11月から常勤医師として、田中成一医師が勤務されています。

専門は消化器内科。在宅医療にも力を入れています。

委員会報告

文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です

付託案件

教育予算の拡充を求める請願を審議

付託された「教育予算の拡充を求める請願」について、12月17日紹介議員ならびに、委員会協賛において、請願者から説明をうけ、それを踏まえ慎重に審査しました。

本請願の内容については、義務教育費国庫負担制度の見直しおよび教育費にかかる地方交付税の確保ならびに教職員の定数改善と教職員給与の財源確保、充実、超過勤務実態に伴う給与措置であり、本委員会は、教育の重要性と地方教育行政環境の整備の視点に立ち審査しました。



審査する文教常任委員会

審査過程において委員から出された主たる意見は、「本請願の趣旨は理解出来るが、国への予算要望としては時期的に適切でないのではないか」「教職員の仕事量が増えている事は理解するが、どのあたりの、仕事が増えているのか、当然の職務だとも思える」「社会状況も様変わりしている。全体を見渡してよく解るが、子供と向き合う時間が保障されるのかと言う根本的な問題もあると思う、超過勤務時間の中身を根本的に精査して訴えるべきである」「請願自体のイメージとして、教育予算の拡充とされているが、前段の趣旨で教育の全般を述べて、後段では教職員の待遇改

善が大半である、教職員の待遇改善を求める請願とする事が具体的なタイプ

「トルではないのか」「中は、人を増やして欲しいと言っているのか、具

体的に、教職員の増員とする方がストレートでないのではないのか」「趣旨を基本的な問題と待遇の問題に分けた請願が分かりやすいと思う、待遇改善を求める事については、現在の一般労働者の雇用状況を考えると何かかなものか」などの多くの意見が出されました。

全体として、請願の趣旨については理解するものの、本旨である国への予算要望をこの時期に行なう事は、その適期を逸しているとの事で、討論はなく、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。

市内5館の図書館コンピュータ統一でべつと便利に

市内5つの図書館では、これまでそれぞれのシステムによる運用を行ってきましたが、今年から新システムを導入し、全館を統一して運用することとなりました。



水口図書館
TEL 631-7400



土山図書館
TEL 661-1056



甲賀図書館情報館
TEL 881-7246



甲南図書交流館
TEL 861-1504



信楽図書館
TEL 821-0320

これまでの、各館ごとのカードによる貸し出しを行っていましたが、一枚のカードに統一され、どの館からでも借りることができるようになります。また、5館にある図書を検索することも可能となり、希望する図書がどの館にあるか知ることができます。

新システムに更新するための作業が1月より開始され、2月3日から9日までの1週間は、全館を臨時休館し、各館のデータを統合(名寄せ等)する作業が行われます。

蔵書冊数も61万冊となり、県下で3番目の規模を誇る図書館となります。各館にはそれぞれ特徴あるコーナーもあり、市民の皆さんの幅広い活用が望まれます。

産業建設常任委員会

産業建設・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です

付託案件

希望ヶ丘上下水道施設 市に移管

産業建設常任委員会に付託されました、条例案2件、特別会計予算1件、請願1件について、12月17日に委員会を開催し、慎重に審査しました。

甲賀市希望ヶ丘地域上下水道施設整備基金条例の制定について

本案は、合意した調停条項の解決金2億円の用途を明確にするために、基金条例を制定するものです。用途についての使用範囲、使用区分はどうかの質問に対し、調停により使用範囲が特定されている。施設の中で特に第2処理場の瑕疵部分が多く、重点的に補修をしたいとのこと。

柿田川への汚水流入については、第2処理場の施設が原因で、問題は出しておらず、当面は管路補修に重点をおきたいとのこと。

甲賀市排水処理施設条例の制定について

平成21年1月1日より



な整備も可能であるとのこと。

平成20年度甲賀市浄化槽管理事業特別会計予算について

平成21年1月1日から3ヶ月間の特別会計で歳入歳出予算総額を2億2218万円と定めるものとす。歳入の主なもの、調停和解金の2億円。歳出については、基金積立金2億20万円、施設管理業務委託690万円等となっています。

希望ヶ丘地域排水処理施設が市に移管されることにより、この施設の管理等を行なうために制定するものです。施設が老朽化しているため、今後新設する場合、国の認可は民間開発でも適用されるのかの問には、希望ヶ丘地域の施設に国費が使われていないので、全面的な整備も可能であるとのこと。

汚染米の食用への転用事件の全容説明と徹底回

収、外米（ミニママアクセス米）の輸入中止を求める請願書について
2項目の請願が挙げられており、1項目目の「汚染米」事件の全容説明と徹底回収については、食の安全、安心を揺るがす社会問題となっており、企業の責任、モラルが問われなければなりません。これを見過ごしてきた農林水産省の責任も重大である等、賛同の意見が多く出されました。

染米」事件の全容説明と徹底回収については、食の安全、安心を揺るがす社会問題となっており、企業の責任、モラルが問われなければなりません。これを見過ごしてきた農林水産省の責任も重大である等、賛同の意見が多く出されました。

外米の輸入を中止することについては、日本は貿易国であり、WTOの方針を無視してミニママアクセス米を中止することは問題である等の意見が多く、採決の結果2項目の外米の輸入中止を求める部分を除き、一部採択すべきものと決定しました。

活性化された商店街を視察研修

11月18～19日

東京・巣鴨に、「おばあちゃんの原宿」と呼ばれる商店街がある。大型店の影響もなく、立派なハードはないが、ハート「魂」はどこにも負けない商人の心意気がある。町並みが雑然としてにぎやかさが一番、活気があって、常にイベントを行っている。商店街への全力投球と熱意が感じられる。



巣鴨商店街

えるもーる烏山



商店街は、地域の「安全・安心、環境、福祉」を担うコミュニケーションの場、暮らしに必要なものを買うだけでなく、地域住民の交流ができ、子どもの社会教育の場でもある。商店街は「シャッター通り」と言われているが、東京・世田谷区烏山商店街は、スタンプサービスなど各種アイデアにより、活性化が図られている。

各会派による 代表質問 目次

平成20年 第6回甲賀市議会定例会代表質問

平成20年12月2日

| 順番 | 議席番号 | 氏名 | 会派名 | 質問事項 |
|----|------|-------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 23番 | 白坂萬里子 | 公明党 甲賀市議団 | 1 市長・2期目の舵取りは ①市長の施政方針について ②行政改革について ③平成21年度予算編成方針について ④子育て支援について |
| | | | | 2 情報モラル教育について ①携帯電話の利用実態について ②教育長の基本的考えについて |
| 2 | 16番 | 伴 資男 | 清風クラブ | 1 中嶋市政2期目4年間の甲賀市の更なる発展のための方針を問う |
| 3 | 12番 | 石川善太郎 | 正政会 | 1 2期目を担う決意と所信について ①甲賀市長選の結果について ②施政方針について |
| 4 | 21番 | 安井 直明 | 日本共産党 甲賀市議員団 | 1 国の「定額給付金」や消費税増税はやめるべき |
| | | | | 2 県の福祉医療助成事業の削減や小学1年生の複数指導廃止について撤回を |
| | | | | 3 所信表明を受け、第2期中嶋市政を問う |
| | | | | 4 知事の意見書などで、大戸川ダムは見直しが言われているかどうか |

各党派による 代表質問

市長、2期目の改革の舵取りは

公明党



白坂 萬里子

問 「共感できる共生社会の実現」に向けた「出前講座の制度化」への具体策は。

市長 平成21年度上半期を目前に、市民の皆さんが「聞いてみたい」と関心のあるメニューを整え、取り組んでいきたい。

問 甲賀のみち・女性会議等において、女性や青年の力が発揮できる甲賀市にするには。

市長 平成28年度までに男女の比率40%を目標に、女性や青年の意見が反映できるように一層進めていく。

問 経常収支比率の改善方法について伺う。

市長 「返す以上に借らない」ことを基本とする財政運営を第一に組織・機構のあり方、アウトソーシングの手法等、今

後検討する中で進めていく。

問 市税等各種収入金徴収率向上への取り組みは。

市長 税・料金等、滞納対策強化3ヶ年計画を掲げ、逃げ得、ゴネ得を許さない強い姿勢で取り組んでいく。

問 新年度予算編成にあたっての基本方針は。

市長 健全財政の堅持を基本に事業の緊急性や必要性、生活に密着する事業を最優先に計画的に進める。

問 保育園の休日保育は。

市長 保護者の意向を調査、検証し、ニーズを見極めながら努力していく。

問 中学校卒業までの医療費完全無料化の計画は。

市長 財政状況や県の動向も注視しながら前向きに検討を進めていく。



問 妊婦検診の完全無料化を。

市長 国の方針が確定したら、近隣市町との調整を行い、検討していく。

問 携帯電話の利用状況と基本的考えを伺う。

教育長 私は小中学生に携帯電話を所持させる必要はないと思っている。所持率では小学生が14%、中学生が40%でいじめの道具に使用したり出会い系サイトにアクセスした子どももいて、常に危険と隣合わせにあり、小中学校においては持ち込み禁止となっている。今後は城山中学校が専門家を招いて研修したことをさらに広げ、保護者への啓発を強めていきたい。

中嶋市政2期目の施政方針を問う

清風クラブ



伴 資男

問 「稼ぐこと・削ること・守ること」の主眼は。

市長 何よりも優先は市民の安全安心な暮らし、福祉と教育は後退させない。逼迫する財政の好転強化が喫緊の課題。

問 「あふれる愛」のま

市長 条件は、行政と市民の信頼の絆と考える。

問 甲賀病院のアクセス道路網や交通手段の具

市長 県道山・松尾線までの新設市道の整備。

と病院を繋ぐ道路を計画。コ

ミニシティバスの運行や巡回バスの運行ルートを再考。

問 小規模老人保健施設

の民営化に向けた指定管理者制度等の導入の施策は。

市長 介護療養病床を公でもって小規模老人保健施設へ移行し、医療確保を図る。今後は民間の経営手法での導入等の観点から検討する。

問 保育園の休日保育、待機児童、児童保育について。

市長 意向調査を行いニーズを見極めながら実施。貴生川保育園の保育室増築。

問 観光協会の一本化は。

市長 甲賀市観光振興計画を策定。統一化に向けて役員レベルで協議を重ね新たな法人化に向けて理解を求め進めている。

問 市民に希望と夢や期待が持てる施策の提言は。

市長 無理を強いて大きな夢を語るのとは、結果として次世代へツケを回すことになる。今は財政の好転を主眼に、福祉と教育を後退させない施策を優先させる。





代表質問

2期目を担う決意と所信は

正政会



石川 善太郎

問 合併のメリットが感じられないという市民への対応は。

市長 私は甲賀市合併においては、大きなメリットがあったものと考えている。福祉サービスや公共料金については「サービスは高く、負担は低く」という方針に基づき、事業の展開など、常にサービスを受け手の立場で取り組んで来た。市民の方には十分ご理解いただけたものと考えている。今後も、合併効果が一層発揮できるよう努力する。

問 増加している。多くの施設を維持することが財政圧迫の要因の一つになっており、今後、適正な施設配置と、効率的な運営や管理方法も含め、本市の規模に応じた公共施設のあり方に取り組みしていく。

問 行政改革をどう進めていくのか。

市長 4年間で試行錯誤をしながら取り組んできた。民間感覚で市民の視点から行政内部を見つめ、施設の管理運営や事務効率など改善すべき余地を残さず、今後

市長 旧町の公共施設をそのまま引き継いでおり同規模の団体に比べて施設数が多い状況である。これらの施設は老朽化が進んでおり維持管理費が

問 育成とは。

市長 17年度から19年度の市税の伸びは企業誘致を積極的に進めて来た結果である。市の



開発当時の近江水口第2テクノパーク

工業団地は残り少なくなつて来ており、民間デベロッパーによるオーダード方式の工業団地開発が最良の手法と考え、今後も、新たな工業団地も積極的に推進し、税収確保の取り組みをしていく。

その他に、市長選挙の総括や甲賀病院の移転にも触れ、財政改革についても質問した。

所信表明を受け、2期目の市政を問う

日本共産党



安井 直明

「民のかまど賑わいけり」を肝に銘じて努力する。」市長の所信表明を受け、「仁徳天皇は、煙が立ち上らないのは、くらしがたいへんだから」と。今、民すなわち国民のかまどより煙がたちのかまどより煙がたちの「ぼらない」状況の現代版だ。



麻生総理は、カップ麺が4百円といい、ホテルのバーで酒を飲むのが日課。「医師には社会常識が欠落している人がい

る」「たらたら飲んで食べて、何もしない人の分の金（医療費）を何で私が払うんだ」と。常識が欠落しているのは誰か明らかだ。仁徳天皇と比べ、民のかまどや民の苦しみも知らないで、国民のための政治が果たして出来るか。と冒頭に発言。

問 甲賀病院開設までにアクセス整備を。

市長 24年開設までに、国道1号の平面交差に、21年度から工事実施へ。コミュニティバスは、現行便数の維持に務める。

問 障害者自立支援サービスにかかる利用者の一部助成措置とは。

市長 低所得者に一部負担金を助成する。

問 中学校卒業までの医療費の無料化の時期は。

市長 県動向を見て検討する。

問 休日保育や待機解消は望むところだが、保育士の勤務条件や、臨時・パートの賃金改善を。

市長 休日保育は、ニーズを把握。臨時・パートの賃金は、新年度から改善に取り組み。

問 家族介護サポート相談センターのマンパワーと開設時期は。

市長 発達障害のある人の家族を支援するため新年度「発達支援室」を設置する。

必要となる人的配置を予定。





平成20年 第6回甲賀市議会定例会一般質問

平成20年12月12日・15日

| 順番 | 議席番号 | 氏名 | 質問事項 |
|----|------|-------|--------------------------------------------------------|
| 1 | 1番 | 山岡 光広 | 1 後期高齢者医療制度について |
| | | | 2 障害者自立支援法について |
| | | | 3 児童クラブについて |
| | | | 4 国保「無保険の子ども」について |
| | | | 5 新名神高速道路甲南インター開通に関連して |
| | | | 6 図書費の増額で図書館の充実について |
| 2 | 5番 | 鶴飼 勲 | 1 平成20年度部局別重点目標第2四半期の総括と今後の取り組みについて |
| | | | 2 高齢運転者の支援事業について |
| 3 | 20番 | 中西弥兵衛 | 1 大戸川ダム建設事業に対する本市の対応と関連水特法事業の見通しを問う |
| | | | 2 甲賀市の公教育について |
| | | | 3 史跡紫香楽宮跡(宮町遺跡)に対する大型調査費の確保と「国指定特別史跡」への昇格をめざす取組みについて問う |
| 4 | 2番 | 林 勝彦 | 1 スポーツの森施設充実について |
| 5 | 6番 | 土山 定信 | 1 市の所有する森林の有効利用は |
| 6 | 28番 | 橋本 律子 | 1 安心・安全の甲賀市子育て支援を ①児童家庭支援と学校 ②学童保育の今後 |
| | | | 2 若者への支援対策について |
| 7 | 15番 | 福西 義幸 | 1 甲賀市農業政策について ①生産・経営施策について ②食農教育・地産地消推進について |
| 8 | 4番 | 舩 藤男 | 1 市民活動における保険について |
| | | | 2 保育園・幼稚園等の、補修や耐震対応について |
| 9 | 13番 | 加藤 和孝 | 1 安全・安心のまちづくりについて |
| | | | 2 火災警報器の普及について |
| | | | 3 学校支援地域本部事業について |
| | | | 4 薬物乱用防止教育について |
| 10 | 27番 | 中島 茂 | 1 甲賀市のまちづくりについて ①甲賀市内の商工業について ②甲賀市の農業振興について |
| 11 | 7番 | 木村 泰男 | 1 路肩のゴミと草刈りについて |
| 12 | 18番 | 河合 定郎 | 1 市民との協働、「協働推進計画」の策定について |
| | | | 2 河川の環境整備(浚渫)について |
| | | | 3 甲賀市での耕作放棄地の解消計画は |
| 13 | 26番 | 今村 和夫 | 1 市長の政治姿勢について |
| | | | 2 放課後児童クラブについて |
| | | | 3 小・中学生の携帯電話について |
| 14 | 11番 | 小松 正人 | 1 甲賀市の平和教育施策の拡大・充実を求める |
| | | | 2 市内企業における労働環境と派遣労働の実態について |
| | | | 3 地産地消および食育推進をすすめるための、市内農畜産物の生産拡大と奨励措置の思い切った実行を |
| | | | 4 水口医療センター機能と地域医療との連携が守れるか |
| | | | 5 再び雇用促進住宅“水口宿舎”問題と市営住宅政策について |

市政を問う

14人の議員が登壇

一般質問

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会（議会中継）で本会議の様様をご覧ください。

<http://www.city.koka.shiga.jp/>

◎傍聴のご案内

本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことが出来ます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。

山岡光広 議員

Q 児童クラブ 全員入所を

A 分割なども含めて対応を検討

後期高齢者医療制度の問題点、障害者自立支援法「応益負担」廃止・当面利用者負担の軽減、児童クラブの充実、国保「無保険の子」、新名神甲南インター周辺の交通安全対策、図書費の増額について質問した。このうち主な質問と答弁は次の通り。



建設部長 道路設計上、公安とも協議を重ねているので、速度を落とせば安全に通行いただけるのではないかと考えている。

問 中学生以下の子どもは「無保険」にするな。
市民環境部長 1月より義務教育以下の子どもは（国保の）短期保険証で対応したい。

問 新名神甲南インターと県道柑子塩野線との接続、新設されるバイパスとの接続「新治口交差点」の安全対策、高架下の照明と凍結防止策を。

問 入所希望が定員を上回る児童クラブの対応、第二子保育料の軽減策を。
市長 全員が入所できることが望ましく、分割などを含めて対応を検討している。

問 図書費の増額を。
教育委員会事務局長 新年度は枠配分の中で優先して対応したい。

Q 部局別重点目標の現状は

A 全力を挙げ取り組む

鵜飼 勲 議員

問 平成20年度部局別重点目標上半期の達成状況ならびに総括と今後の取り組みについて。

市長 部局別重点目標については、市の羅針盤である総合計画に沿った施策や各種計画を実現するために部局ごとの組織目標とした重点目標として設定をしている。各目標については、4半期ごとに達成状況を3段階で確認し進捗状況の評価管理を行っている。上半期の達成状況と総括については、全目標数の約7割が達成、もしくは計画以上の達成となっているが、約3割が計画

を下回る状況である。

計画を下回る目標については、大きく3グループに分類整理し、あらゆる面から方策を検証し取り組む。

今後については、総合計画との整合性を図りながら、実現に向け全力を挙げ取り組む。

問 高齢運転者の交通事故減少と運転免許証の自主返納に対する支援事業の考えについて。

市長 高齢運転者が運転免許証を自主返納する件数は非常に少ない。

高齢運転者の交通事故も増加の傾向にあり、運転免許証が本人確認の公的証明書として利用されている現状からも市民のニーズに応えられるように検討を行う。



高齢運転者標識

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです

中西弥兵衛 議員

Q 水特法事業の今後の見通しは

A 早期完了をめざし国県に要望する

問 大戸川ダム事業の推進に向けた今日までの対応を問う。(対国交省、対知事、対大戸川河川開発促進協議会、対黄瀬大戸川ダム対策委員会)

市長 11月6日、流域4団体と共に知事に対し整備計画への位置づけを申し入れ、21日には大津市宇治市と共に国交大臣や関係省庁に対し地元の40年来の想いを強く訴えてきたところである。

である。今後の事業見通しと取り組み姿勢を問う。
市長 下水道事業においては下流交付金4億3千万円を見込んでおり、当市の厳しい財政状況からもこの実情を国および道路管理者である滋賀県知事に対し、いかなることがあっても中断することのないよう強く要望していく。

問 水特法事業21のうち4事業が継続中、6事業が未着手であるが、付替県道大津・信楽線と公共下水道事業はダム建設への合意形成の結果着手された上流域の永年の悲願



工事が中断したままの付替県道大津・信楽線

Q スポーツの森のトイレ増設計画は

A 防災公園としてのトイレ設置を検討

林 勝彦 議員

問 スポーツの森施設利用者が増えているがトイレ設置箇所が少なく、利用者より増設の要望が多く寄せられているが、増設計画はあるか。

建設部長 スポーツの森の各施設の利用者は年々増加しており、市内の方をはじめ、市外あるいは県外の方々の利用をいただいている。スポーツの森総合公園全体を防災公園として位置づけ、順次整理を行っており、トイレの増設についても、防災用トイレとして入口ゲート西側付近に平成23年度

に整備する予定で検討している。

問 野洲川河川敷のテニスコート横と多目的グラウンドの北東の駐車場に仮設トイレの設置は出来ないか。

建設部長 河川敷においては、毎年、降雨時に何度かテニスコート一体が浸水しており、今後も浸水する恐れがあることから、施設管理面と防疫による衛生面から設置が困難である。また、駐車場付近については平成23年度に防災用トイレを検討していることから設置は考えていない。

の各施設の利用者は年々増加しており、市内の方をはじめ、市外あるいは県外の方々の利用をいただいている。スポーツの森総合公園全体を防災公園として位置づけ、順次整理を行っており、トイレの増設についても、防災用トイレとして入口ゲート西側付近に平成23年度



水口スポーツの森平面図

土山定信 議員

Q 市が所有する森林の有効利用は

A 市民が誇れる森林に育てて行きたい

問 市の財産の森林は財産として把握しているのか。

市長 檜、杉、松等の樹齢等を把握している。



市が所有する森林

問 山林は、境界および測量ができていないのか。

財務部長 すべてできているわけではない。完全に用地測量するには、費用もかかり、いまずぐに行う計画はない。

問 森の管理の予算が計上されているが、今後の計画は。

財務部長 旧町時代の管理内容もあり今後も管理は続けていく。

問 他の組織と共同管理している箇所もあるのか。

財務部長 旧緑資源機構、現在森林総合研究所と契約を交わしている。契約内容は満50年または

110年である。

問 獣害に大変苦しんでいる。それらの森林に実のなる木を植え、動物のえさにする。方向だけでも市は示せないか。

産業経済部長 獣害は把握している。内容は理解できるが、市が所有している森は、散在しており効果は少ないと考えている。

問 これらの森林を、ただ単に、財産収入目的だけではなく、10年後・20年後の市民に対して、いま、われわれが環境を守ろうとしたことのメッセージとして、森作りが、できないか。

産業経済部長 官民協力で内外に誇れる森林に。

一般質問



Q 学童保育の課題と 今後は

橋本律子議員

A 多方面から検証し 充実へ

問 来年度の児童クラブ利用者の増加が著しい状況の中、受け入れの調整と施設整備の見直しが必要と考えるがどうか。また市全体として運営主体をどう方向づけるのか伺う。

市長 施設の面積などを基準として定めた定員数をオーバーした場合は、利用希望者の中で再度調整や第2クラブの設立や他の広い施設への移動調整を行っている。甲南地域の2クラブについては現在、運営関係者と希望者全員が利用できるよう調整。人材不足や適当な施設がない等、やむを得

ない場合は、ファミリーサポート事業等他の子育て支援事業の情報提供をする。専用施設が必要ないところは必要性の高いところから計画的に整備を行う予定。運営について今後、エリア毎にNPO法人や福祉法人などへの委託を含め多方面から検証を行い、市の子育て支援の基軸づくりに取り組む。

問 施設がないクラブに對して、学校の空き教室の有効利用はできないか。

教育長 現在、伴谷小はじめ4校を臨時的に使用。教室は特別支援、総合的学習、個別指導などきめ細かな指導に活用しなければならぬ。空き教室は水口・希望ヶ丘小のみ

若者支援制度についても質問した。



福西義幸 議員

Q 市「農業政策」は

A 生産現場や消費者の声を 施策に反映

問 長期展望のもと創意工夫ある農業に取り組む支援策は。

市長 現場に密着した政策の課題であると同時に、食糧の供給という市民生活に深く関わっていることから、農業者の取り組みや消費者の声を積極的に施策に反映し、安定した農業経営が営まれるよう、今後とも最善の努力をする。

問 食農教育への取り組みと地産地消の推進策は。

教育長 「食」は生きる上での基本との観点から教育の基礎であり、また日本の伝統的な献立である「一汁一菜」は「医食同源」の理想

的な食事であることから、地元産物の利用拡大を図りながら完全米飯給食を視野にいれる。

市長 国の「21世紀・新農政2008」と連動した地産地消の取り組み強化を図りつつ、直売施設等の設置拡充に伴う支援については努力する。

他に、具体策8項目について産業経済部長に質問した。



考えよう明日の甲賀の農業を

Q 市民活動保険、 スポーツ活動は

舛藤男議員

A 自分の身は自分で 守っていただく

問 市民の皆様が安心して市民活動に参加していただけるように、甲賀市では市民活動総合補償制度が導入されており万一、活動中に事故が起こった場合には広く救済がなされるように導入されたところがあるが、本年度よりスポーツ活動は、参加者や選手は対象外となっており、地域の運動会やスポーツイベントなど、地域の親睦のためのレクリエーションの一環として楽しく競技されるものが対象外となるのでは、もしもの時には活動がしぼんでしまうのではないかとと思うが。

総務部長 この制度は分野を問わずすべての市民活動が対象となっていたが、活動の社会性、公益性等を3年間の制度運用の中で検討した結果、今年度からスポーツ活動中の参加者や選手の活動を補償範囲から外す事とした。理由はスポーツ活動の競技者は自分の身は自分で守る受益者負担の原則にたち、事故や怪我に對する心構えをもってもらおうという考えである。スポーツ団体や行事等にはスポーツ安全保険や行事保険などを紹介しており、取り組みが萎縮したりすることは無いものと思っている。

他に保育園の補修についても質問した。



いたみがはげしい保育園

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです

加藤和孝 議員

Q 要援護者避難支援計画策定は

A 地域に応じた計画を策定する

問 国の災害時要援護者の避難支援ガイドラインや福祉避難所設置・運営に関するガイドラインが公表されている。本市でも策定すべきでは。

総務部長 各地域に配布した要援護者の名簿が災害時にいかに有効活用されるかが重要であることから、今後は自主防災組織設置率の向上と、地域に応じた避難支援プランの策定を進める。

問 火災報知器の既存住宅における設置状況、普及啓発の取組み状況、災害弱者への対応は。

総務部長 9割が未設置と推測する。区長会などを通じ啓発に努めてきたが、今後も家庭に直接届く啓発に努める。

健康福祉部長 高齢者や障がい者の方への周知を図っているが、今後も徹

底して行う。

問 薬物乱用防止教育の推進状況は。薬物乱用防止キャラバンカーを教育委員会主導のもとに積極的に利用すべきでは。



キャラバンカーを利用した薬物乱用防止教育風景

教育長 小学校高学年

の段階から学級活動や保健分野の授業でシンナー、覚せい剤の恐ろしさを指導している。キャラバンカーについては、市単位で活用することも検討する。

Q 商工業の現状をどう考えるか

A 協働のまちづくりを進める

中島 茂 議員

問 中小零細企業の窮状、金融機関の貸し渋り・貸しはがし、ガソリンスタンドや商店街の現状をどのように考えるか。

市長 無担保で利用可能な「緊急保障制度」が10月31日からスタート。ここ数年大型小売店舗の進出が続く、市内の商業環境が激変しており、地域の中小小売業者の方は、厳しい経営を余儀なくされる。商店街にあっても同様である。貸しはがし貸し渋りに限らず円滑な資金供給が図られるよう金融庁から金融機関に繰り返し要請されている。大型小売店舗や企業は、

雇用の創出を通して地域の活性化に寄与している。これからのまちづくりは民間の活力やパワーによる協働のまちづくりを進めることが重要。

問 米の価格、おいしい米作り、ブランド米、中山間地での米作りについて。

市長 WTO世界貿易機関の交渉、過剰生産、作況指数で米価が決まる。全国的な生産調整で米価を安定。おいしい米は品種の食味特性、土壌や水、地域の気象条件、日中、夜間の寒暖の差で高い評価。農家・農業の役割は食料の生産、周辺の景観形成の保全、ノスタルジアの風情、自然の宝庫などを次代に引き継ぐ。



おいしい米づくり

Q 路肩のゴミと除草

木村泰男 議員

A 「作業中」の看板貸します

世界経済のバブルが崩壊、その影響は避けられず、市民生活や市財政も一層厳しさを増す中、市民との協働で、市内道路のゴミと草の除去を！との観点から質問。

問 協働で行ってきたこと、続けるべきこと。

市長 耕地愛護や河川愛護などで、道路や地域の清掃をはじめとして様々な事がある。

問 路肩の除草とゴミに関わって①道路に関わる要望等はどこに申し出ればよいのか。②市道の除草はどのように委託しているのか。③年2回は除草すべきでは。

④集落間の道路の除草は。⑤「除草作業中」の看板を作ってもらえないか。⑥道

路脇のゴミ拾いは。⑦甲賀市独自の「道路清掃の日」を定めてはどうか。

建設部長 ①まずは建設部へ。②通行量と危険度の高い幹線より。③原則年に1度。④近隣集落で話し合いを。⑤看板やコーンバリケードを準備する。⑥地域社会の取り組みへの期待と啓発の実施。⑦現状以上は難しい。

財政難のため道路管理予算も限界。ならば安全に留意しつつ、市民の手で甲賀の道を美しく保ちましょう。



こんな所にもゴミが



一般質問

河川の堆積土砂の浚渫を

河合定郎 議員

管理者の県に強く要望している

問 「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」が市内においても取り組まれているが、この事業を進める上でも、河川の環境整備（堆積土砂の浚渫）が急務である。集中豪雨での河川の流下能力面からも不安である。積極的な取り組みを。

建設部長 1級河川の管理者である県に強く要望している。河川が氾濫し、壊滅的な被害が生じる恐れのある箇所から対応してもらっているが、県も限られた予算から、その全てについて対応はできない。残土処分地の確保もお願いしているが、



地域住民による環境整備、河川の草刈り

現状では、環境面より治水上の危険性が実施の判断となる。人力では限界がある地域の環境整備を、県の「ふるさと川づくり協働事業」でも取り組んでいきたい。

問 「協働推進計画」の策定は、どのような方法で進めていくのか。

市長 共通の目的を達成するために、市民活動団体など15名で「甲賀市協働のまちづくり懇話会」を立ち上げた。「協働の指針」に関することや、自治基本条例に関することなどを審議いただき、年度末には「協働の指針」を策定していただく予定。



今村和夫 議員

Q 小中学生の携帯電話について

A 基本的に必要なと思う

問 小中学生の携帯電話所持の現況に対する教育長の思いは。

教育長 多くの子どもたちは携帯電話を長時間メールのやりとりとか、暇つぶしに使い、中には出会い系サイトへのアクセスも確認されるなどの実態が明らかになっている。顔の見える人と人との関わりが希薄になり、豊かな人間関係を育む上で、大きな障害になって

いる事は事実である。保護者の安易な持たせ方も含め現在の状況は決して良好な状態とは言えない。各家庭では子ども達が本当に持たなければならぬのか再検討していただくと共に、持たせる場合には、条件を明確にし、不適切な場合には使用させないなど、保護者が毅然とした態度で子どもに対応することが求められると思う。

問 放課後児童クラブ運営上の現況は。

教育長 施設および人材の確保という問題はあるが、クラブを分割して第2クラブの設置や他の面積の広い施設への移動なども視野に入れ、できる限り希望者全員が利用できるよう配慮する。

広島平和体験を全小学校の子らに

小松正人 議員

全ての小学校から最低一人は参加させたい

市内企業の労働環境



広島平和記念公園にて

問 小学生の広島平和学習体験の感想に感動した今年12校15名の参加だったが全ての小学校と大規模校の複数以上の参加を強く望む。また、平和原爆展等の具体化は。

市長 全ての小学校から最低一人の参加を確保したい。市独自の平和資料展の実施を検討している。

と派遣労働の実態は。

市長 派遣労働者数は09年2月の企業訪問で把握。産業経済部長 労働相談は毎月1回実施し、11月までにセクハラ等26件の受け付けあり。

問 地産地消と食育推進の立場から市内農畜産物の生産拡大と市独自の奨励措置を求める。

市長 市内自給率の低い野菜等の生産拡大に力を入れる。特に学校給食に地元産を増やし、30%を目標とする。（現在15.2%）

問 水口医療センターの病院への再開めどは。

市長 再開には医療動向を把握し、常勤医師や看護師等医療スタッフの安定確保が不可欠である。

問 雇用促進住宅水口宿舎の譲渡受け入れは。

市長 改修費が高つくき無理。

問 21年4月市営住宅の入居基準引き下げか。

建設部長 低所得の住宅困窮者が多く引き下げる。

特別委員会の動き

環境・廃棄物
対策特別
委員会

市内4カ所の 産廃処理施設を調査

市内3ヶ所の産業廃棄物中間処理施設と操業を開始したクリーンセンター滋賀の搬入・展開操作等を11月21日、見学しました。

各施設とも主にコンクリートがらおよびその他を扱い、収集・中間再生処理して再資源化するものです。リサイクル出来ないものは焼却処理し、最終処分場へ運ばれます。どの施設とも整理整頓され、環境意識の高さがかがわれました。場内に降った雨水処理は沈殿槽のあるところや一部課題の所

も見受けられました。また近くの民家へのほこり飛散に配慮し、近く奥地に処理場移設の計画予定の所もありました。

クリーンセンター滋賀への搬入車はマーク装着が義務です。国道運搬時、積載物に万一乱れがないか注視しましょう。



クリーンセンター滋賀

交通対策
特別委員会

市民に欠かせない重要な足、 高速バス・帝産バス・高原鉄道

土山サービスエリアから新名神を高速バスが走り喜ばれています。京都と東京を結ぶJRバスの利用者は、7月から10月末までの間225人でした。

伊勢方面への運行もはじまり、名古屋・京都・大阪など各

便利利用者合計は、運行開始から10月末までに2千人を超え、今後も、乗客増が期待されます。

一方、一昨年12月に帝産湖南交通（帝産バス）の信楽線は、乗降客の減少など独自で事業継続が困難である旨の申し出を県地方バス対策地域連絡協議会になされました。

甲賀市は、「地域の重要路線であり、企業努力により、運行継続を希望



登録有形文化財に選ばれた第一大戸川橋梁（信楽高原鉄道）

国庫補助制度を活用の場合、県や事業者等と十分な調整を図ること」と言っています。現在も会で検討がなされています。

信楽高原鉄道とコミュニティバスが利用できる「IDay」チケットが12月末で廃止されました。今後検討がなされるようですが、通院などに便利なのこの制度の復活が望まれます。

地域情報
対策特別委員会

地域情報基盤整備に 向けて「中間報告」

地デジ全面移行の2011年7月に向けて中継局の設置が計画され、21年度は甲賀と信楽に2ヶ所、22年度は土山に2ヶ所の設置が予定されるなど地デジ対策は進んで来ています。

加えて、行政情報は、すべての住民が格差なしで入手できるよう基盤整備を早急にする必要があります。

甲賀市の財政状況から全市に改めて光ファイバー網を設置する余裕はなく、市内外の民間事業者の協力を得ることが基本的な選択肢となります。

市内における民間の基盤整備状況からして、大手民間事業者による整

備か、市内事業者と大手事業者の連携によるものか、など方向性を決定することが求められています。

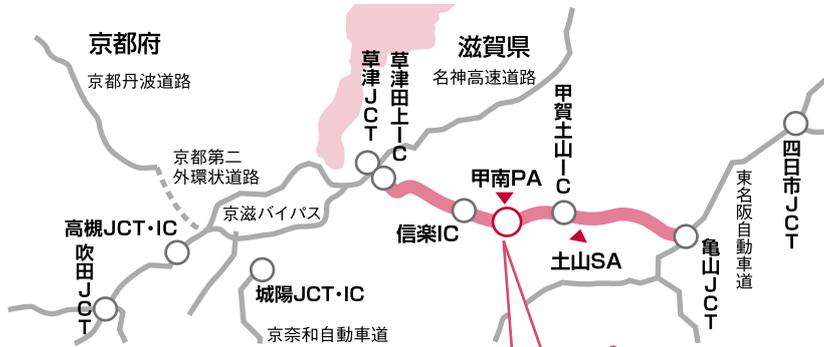
当委員会では、事業化に向けて早急に協議することを求める提案を「中間報告」としてまとめています。



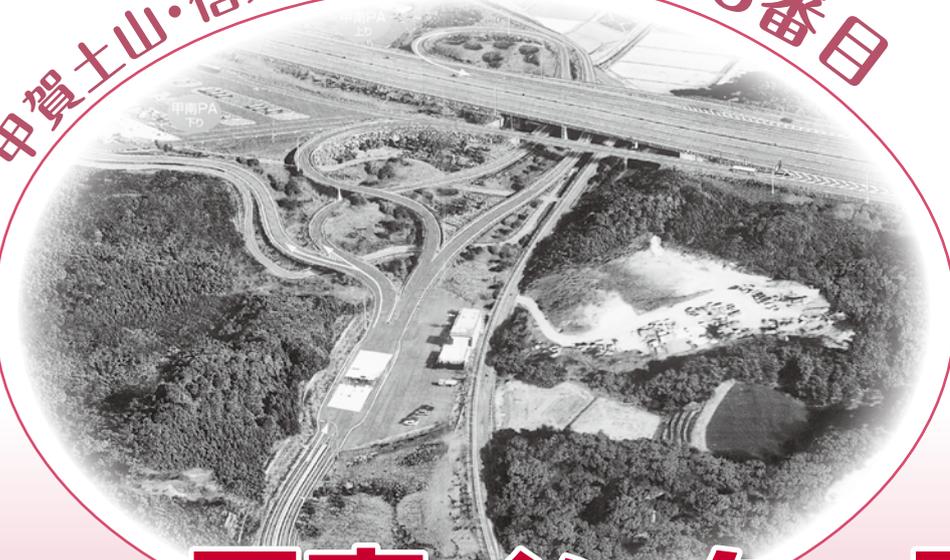
地域情報基盤整備について討論する特別委員会

特別委員会の動き

京阪神と中京を結ぶ大動脈



甲賀土山・信楽について 市内3番目



新名神 甲南インター開通

3月20日供用開始

京阪神と中京を結ぶ新名神高速道路。この大動脈への出入り口として、市内3番目のインターチェンジが甲南にオープンします。「地域活性化インターチェンジ制度」を活用してのインターは全国でも初めて。滋賀県が総額34億円を投じて建設したもので、3月20日に供用開始となります。ゲートはETCが付いていない車輛でも通行可能です。



工事中の甲南インターゲートを視察する特別委員会

置されます。当委員会として、今後も地域活性化に向け調査などをすすめます。

委員会では、急ピッチで工事の進む状況について、12月16日、現地調査を実施しました。

野線が一部改良され、新

ます。委員会は、急ピッチで工事の進む状況について、12月16日、現地調査を実施しました。

野線が一部改良され、新

3月に甲南インターチェンジが誕生します。これは、市内で3つ目のインターチェンジであり、より地域間の交流が活発になり、雇用、観光が促進され、高い経済効果と地域の活性化が期待されます。

このインターチェンジは、「地域活性化制度」により滋賀県が建設したもので、出入口4ゲートが設置されます。既設の甲賀・土山IC、信楽ICの高速道路会社の運営されるものと全く同様のものです。3月の供用開始に向け、最後の仕上げ調整がされています。周辺道路については、県道柑子塩

新名神
地域振興
特別委員会

甲南ICの工事・周辺道路を
現地視察

くろぎこうか



Vol.13

甲賀の味

シリーズ⑥



こんにやく芋は、農薬と化学肥料にたよることなく、丹精込めて、多羅尾の風土で3年かけて育

弾力感と歯切れのよさが特徴

多羅尾のこんにやく

てました。

信楽町多羅尾のこんにやくは、10月から3月までの期間限定であり、まさに「今が旬」です。

すべてが地元産の生芋を加工しているため、グリグリとした弾力感とコシコシとした歯切れの良さが際立ち、表面がザラツとしているため、味がしみやすいのが特長

伝わる味と手わざ

です。

のどもとを過ぎるとき

に感じる独特のひなびた味わいは、農家の方々の手作りゆえの味を感じま

す。工場生産では味わえない伝統の食材ならではの

のもです。

自然がいつぱいの手づ

くりこんにやくは、昭和55年、転作水田での芋栽培に始まりました。

生活改善グループの魅力ある活動のひとつで、

多羅尾のもつ気候、風土が生かせ、安全安心な食品を地域の人々に味わってもらえたら、と村おこしで始まったものです。『生きがい工房、こんにやく』によるおふくろの味は、逸品の食材です。

◆こんにやくの効用

日本人の食生活で不足しがちと言われているカルシウムを十分含んでいる、酸にとけやすく、胃の中で容易にとけて吸収されます。つまり優れたアルカリ性食品です。また、ダイエット食品として、日々の食生活に伝統食品を使っはいかげでしょうか。

◆調理法

おでん、煮物、味噌汁、豚汁などの汁物や鍋物の具に使われます。串を刺して味噌田楽の素材としても用いられます。



編集後記

▶平成 21 年・2009 年は史上最大の不況の中での新年となりました。

世界規模の不況の中で甲賀市も正念場を迎えます。今回の議会だよりでは、10月の議会改選に向けて、議会改革に取り組む意気込みを込めて、4会派の代表による新春座談会を巻頭に掲載しました。新春に祈った思いで今年1年、議員一同市民の皆様と一緒に歩いていきます。

▶議会だよりは、市の広報とは違った観点から、議会を中心とした構成・編成となるよう努力しています。

(広報特別委員 石川善太郎)



カメラの



信楽の中央公民館で開催されている「スマイルキッズ」。就学前の子どもとお母さんらが一緒になって、布絵本サークル「たぬき」が作成した縦 28cm、横 20cm の大型オリジナルかるたを楽しみました。(撮影・山岡光広)